

発行：小諸市地域ケア推進会議事務局（小諸市高齢福祉課・小諸市地域包括支援センター）

令和5年度 第4回地域ケア推進会議を開催しました

令和6年2月27日に地域ケア推進会議・生活支援体制整備推進会議を開催しました。

今回の会議では前回から引き続き「移動」の課題に対しての報告と提案が生活支援コーディネーターからあり、それについて各機関の委員の皆さんから意見を出していただき、議論を重ねました。

～移動支援、これまでのおおまかな流れ～

●はじめに●

このところ、地域包括支援センターに寄せられる皆さんの困りごとの中に、「免許返納後の移動が心配」「地域の通いの場に行きたいが移動手段がない」「介護予防の一環として外出したい」といった移動に関するものが増えてきていました。

一方で、全国各地でも、新しい移動支援の事例や試みが増えていきます。その中でよく聞かれるのが「地域にある空き車両を用いた移動支援」です。

このような状況を踏まえ、小諸市でも移動支援を生活課題としてとらえ、考えていくことになりました。



～前回から今回の会議まで、そして今回の会議内容です。～

第4回会議では、第3回会議（11/28）で挙げた情報をもとに生活支援コーディネーターが調査を重ね、その報告を行いました。

冒頭、2月6日にオンラインで行われた県の事例報告会での、NPO法人全国移動サービスネットワークの基調報告の内容を共有しました。

●課題

- ・多世代同居時代にあった「家庭内の福祉的機能」が期待できないこと。
- ・公共交通では取り残される高齢者等がいること。

●大切にしたい視点

- ・生活支援・介護予防サービスの充実と高齢者の社会参加
- ・生活支援の担い手としての社会参加

また、アドバイザー派遣や後方支援体制整備など、県による移動サービス創出支援についての紹介もありました。

その後、生活支援コーディネーターが他地域の社協に対し行った聞き取り調査や情報収集の結果の報告があり、移動支援は「運転する人」「使用する車両」によって4つのパターンがあること、保険や利用者の費用負担などが今後の課題となること
が示されました。



近年全国的にも広がりを見せている「公共交通以外の移動手段」については、**国土交通省でも令和6年4月からのライドシェアの一部の規制解禁**等の形によって、様々な課題があるとしながらも取り組み始めています。

移動をテーマにした生活支援体制備推進事業

～今後の取り組みについて～

3月 小諸市内の移動交通手段について調査と協議をひと通り終えたことから、地域や目的を絞った移動支援を検討しています。

現在は、社会福祉法人浅間福祉会の中村副理事長のご賛同とご協力により、（例えば施設やボランティアによる移動支援のモデル事業として）取り組みを先につなげていくことができることになりました。

「自分にできることでよければ、協力したいと思いました。今後こういった動きがどんどん広がっていくとよいですね」（中村副理事長）



●これから●

以前、会議の中で車両のある場所として挙げた市内の区、施設などに、車両を使用しない時間帯に移動支援のために利活用できないかなどの協力をお願いする形で、令和6年度にモデル事業を進めていく予定になっています。

調査や会議で分かってきた移動支援に伴う課題や重視すべきポイントなどについては、今後の協議で詰めていく予定です。

今後もどのような声に応えていけるか、地域とも調整を行いながら進めていきたいと考えています。

そして地域に住む人すべてが暮らしやすさを感じられる姿を目指していきます。



あらためて「地域ケア推進会議」・「生活支援体制整備推進会議」について ～令和5年度のふりかえり～

地域ケア推進会議では、小諸市のその時の状況に応じた地域課題を取り扱っています。

会議により実現した活動の中には「身寄りのない住民のための役割分担シート」の活用など多数の市町村から参考にしたいと問い合わせをいただいたものもありました。

令和5年度は、主に「地域の担い手」「高齢者と生活ごみ」「移動支援」のテーマについて話し合いを進めてきました。

どの課題もすぐに解決できるものではありませんが、委員の皆さんと一緒に知恵を出し合い、少しでも前進するよう引き続き取り組んでいきます。

また「地域の困りごと・地域課題の種類整理シート」の提出を常時募集しています。受付は包括支援センターと市役所高齢福祉課です。

最後に令和5年度の活動を振り返り、委員の言葉から一部を紹介させていただきます。

- ・「担い手や生活ごみの問題など、他の分野でも問題になっている。関係者が集まって小さな課題から地域全体の課題として協議して大きな動きにつなげていく仕組みは他の分野でも共有していきたい」
- ・「できないことを探すよりも、どうやったらできるかということを探していく、その姿勢がとても有意義だと感じた。自分の経験や会議の中から出てきた言葉を少しずつ世の中に渡していけたらと思う」

皆様、1年間ありがとうございました。

【編集後記】平成28年度に始まった地域ケア推進会議は、この4月で9年目を迎えます。この間、各機関の皆さんと一緒に小諸市という地域をよりよくするために様々な形で取り組んできました。（その実績や足跡については小諸市ホームページ記載の本誌バックナンバーをぜひご覧ください。）これからもよろしくお願ひします。